

No.	採用組織名	募集人員	担当業務・担当科目等	研究分野	職種	任期	応募資格	応募書類	備考	問い合わせ・提出先
1	分子化学系	1名	担当業務： 分析化学(バイオ分析、生体関連化学、環境化学を含む)を学術基盤とし、社会の様々な課題解決を指向した先導的研究の実施ならびに国際展開。 上記専門分野における学生指導。 担当科目： 「分析化学」に関連した学部、大学院科目	大分類：化学 小分類：複合化学	教授	任期なし	機能物質化学専攻では、生命活動に関わる多様な生体分子の構造と機能を計測・解析し、その知見を基にした物質の機能制御、機能物質の創製と応用・生産ならびに先導的分析計測法の開発を志向した研究・教育を実施している。 応募者は医療と健康分野を革新するセンシングデバイスや生体膜輸送システムに関わる研究実績を有するとともに、本専攻において当該分野の独創的研究を推進できる人材であること。			jinji- saiyou09@jim.kit.ac.jp
2	分子化学系	1名	担当業務： 生命科学(生体関連化学、生化学、分子生物学、生物工学を含む)を学術基盤とし、社会の様々な課題解決を指向した先導的研究の実施ならびに国際展開。 上記専門分野における学生指導。 担当科目： 「生化学」に関連した学部、大学院科目	大分類：化学 小分類：複合化学 大分類：複合領域 小分類：生体分子科学 大分類：農学 小分類：農芸化学	教授	任期なし	機能物質化学専攻では、生命活動に関わる多様な生体分子の構造と機能を計測・解析し、その知見を基にした物質の機能制御、機能物質の創製と応用・生産ならびに先導的分析計測法の開発を志向した研究・教育を実施している。 応募者は本専攻において、広い意味での生命科学に関する基礎・応用研究を通じて、社会全体のQuality of Life(QOL)の向上、持続可能な社会の構築、革新的ものづくり技術、次世代型バイオエネルギー等の課題の解決に大きく貢献できる人材であること。			jinji- saiyou10@jim.kit.ac.jp
3	電気電子工学系	1名	担当業務： プラズマ科学を学術基盤とした持続可能なエネルギー、半導体プロセス等に関する教育研究および学生の研究指導 担当科目： 電気電子工学、特に電磁気学に関連した学部、大学院科目	大分類：数物系科学 小分類：プラズマ科学	助教	任期あり(5年)・再任可	プラズマ科学分野を主たる活動の場とし、核融合エネルギー、プラズマプロセス、プラズマ基礎の最先端を切り拓いていく強い意欲を有していること。また、国内外の研究室・研究機関・産業界と連携して推進するような国際的分野横断型テーマに対しても積極的に協力できること。	教育実績・学会活動リスト(公募のURLより様式4をダウンロード)		jinji- saiyou11@jim.kit.ac.jp
4	基盤科学系	1名	担当業務： アクセシビリティ・コミュニケーション支援センターの業務内容についての統括責任者。業務として、学生、教職員を対象に、①一般相談(心理・性格、対人関係、修学・進路など)と、②障害学生に対する「合理的配慮」項目の策定・支援を行い、③これらの活動の検証や分析を研究として行う。 担当科目： キャリア教育基礎(障害と障害者とのコミュニケーションを知る)、メンタルヘルス	大分類：社会科学 小分類：心理学	教授	任期なし	1. 臨床心理士もしくは公認心理師の資格を有すること。 2. 担当業務②に関し、個別式知能検査の熟達を証する資格等(特別支援教育士等)の取得が望ましい。 なお、担当業務①では豊富なカウンセリング経験が不可欠であり、担当業務②では、発達障害・精神障害のアセスメント経験が不可欠である。また、担当業務③においては、心理調査とその統計分析経験が必要である。講義を担当頂くので、講義経験も必要である。			jinji- saiyou12@jim.kit.ac.jp
5	基盤科学系	1名	①「教育原論」、「教育実習Ⅰ」、「教育実習Ⅱ」、「教育実習Ⅲ」及び「教職実践演習(中・高)」の授業担当 ②①以外の教職科目の授業担当(採用後に業績等を踏まえて決定します。なお、業績に応じた教職科目以外の授業科目をご担当いただくこともあります。) ③教職課程の管理運営 ④大学における管理業務 ⑤その他大学が必要と認めた業務	大分類：社会科学 小分類：教育学	教授、准教授又は助教	助教→任期あり(5年)・再任可 教授、准教授→任期なし	・公募する研究分野又は関連する分野で博士の学位を有する者又はこれに準ずる研究上の業績を有することが望ましい。 ・「教育原論」、「教育実習Ⅰ」、「教育実習Ⅱ」、「教育実習Ⅲ」及び「教職実践演習(中・高)」で文部科学省の教職課程認定審査基準を満たす教育研究業績を有すること。 ・「現代教師論」、「道徳教育の理論と方法」、「特別活動論」及び「教育方法論」を担当できることが望ましい。 ・大学での教職課程科目の教育歴を有する方 ・大学の管理運営業務に積極的に関わる意欲を有する方 ・大学の各種業務に積極的に従事し、他の教職員と協働し、責任をもって各種業務を遂行できる方	教職課程認定申請に必要な教育研究業績書 他大学における教職課程科目担当状況一覧(科目名(担当形態)、年度、担当時の職名(常勤、非常勤)などを記載すること。)	履歴書の職歴欄には、過去の課程認定委員会における教員審査で単独可と審査された科目を記載すること。	jinji- saiyou13@jim.kit.ac.jp